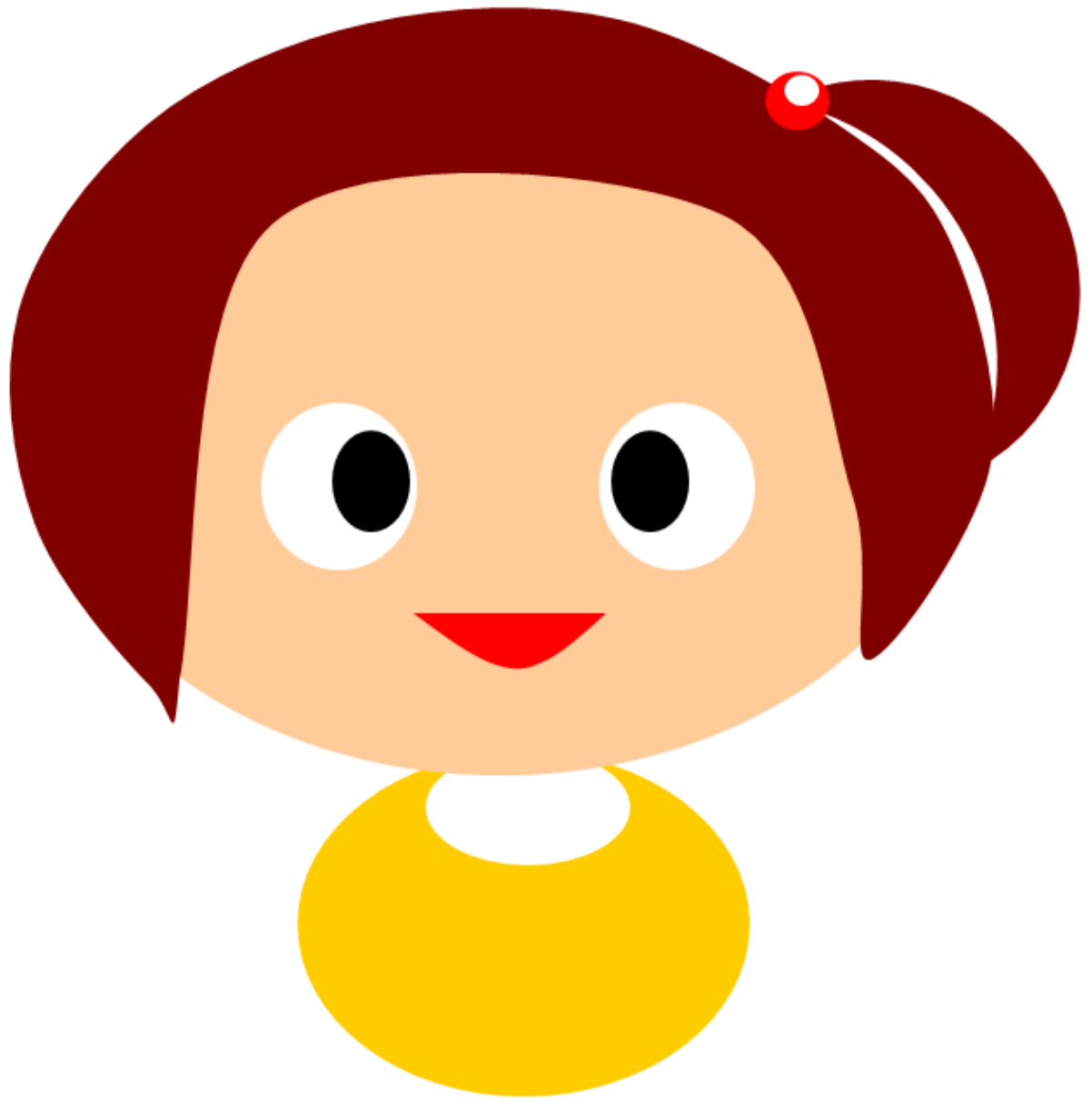


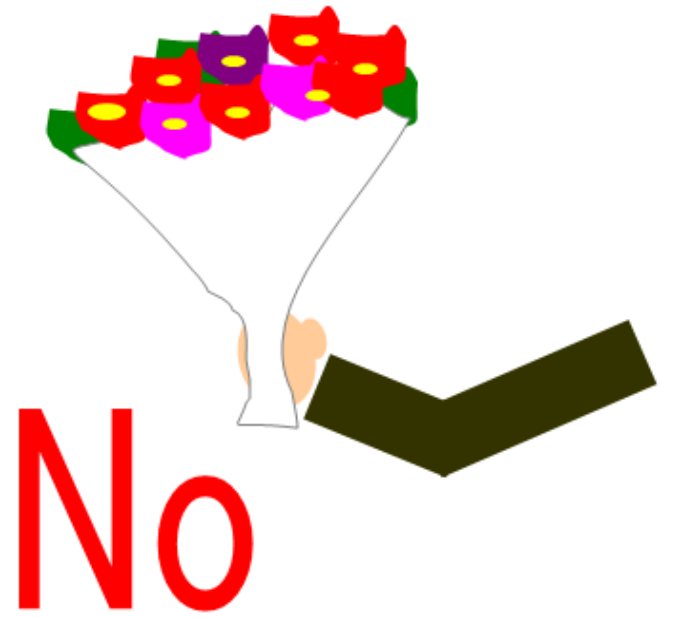
# 相性のいいいい 木

ふくいの木環境読本シリーズ②  
発行：福井県奥越農林総合事務所

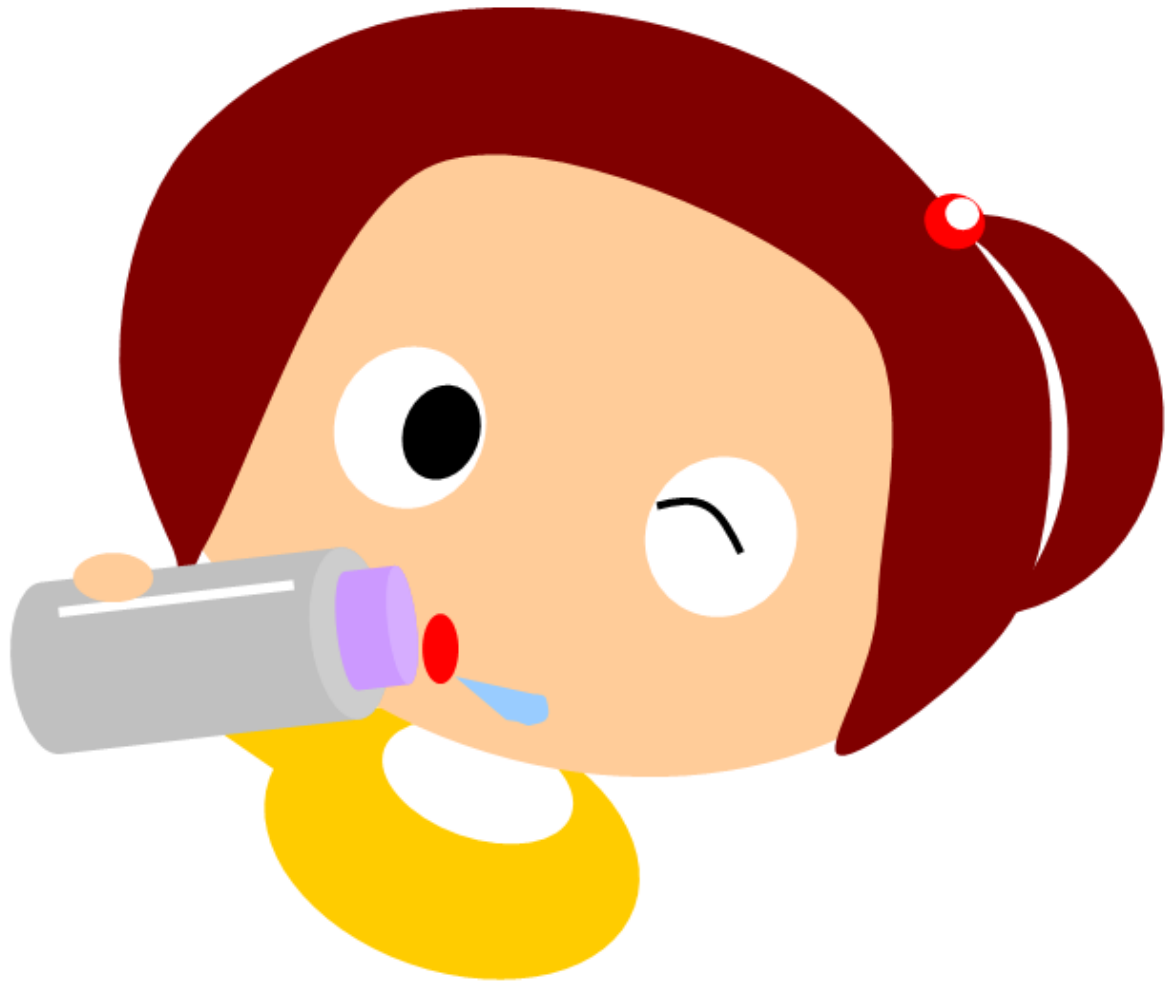




アイさんは相性にとっても  
こだわります。



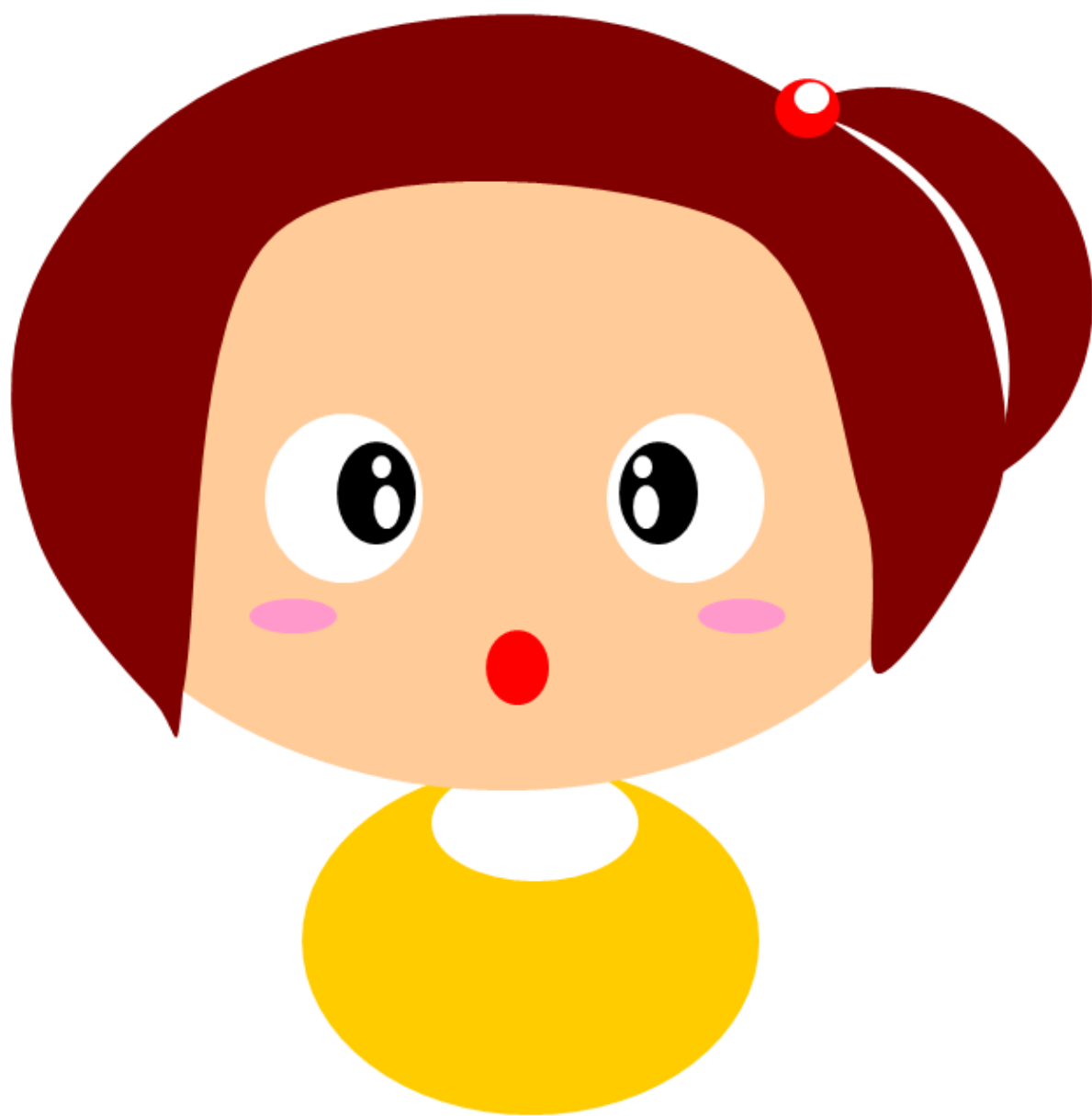
A型の人とは付き合わないし



どこへいくにも、地元お  
おのの名水を持参  
他の水ではだめみたい



家を建てるときは、風水にもこだわるつもり



「でもアイさん。一番大事なふくいの相性は考えないの？」



「重くて湿った雪の降る  
ふくいの家には、ふくい  
の木が一番だよ」



そうか。使うなら、  
県産材（ふくいの木）  
ね。



## あとがき

「ふくいの気候風土で育った木は、ふくいの家に使うのが一番。」

多くの大工・工務店さんがそのように言っています。

ふくいのスギの曲げ強度（曲がりにくさ）は、全国のスギの平均値を上回っています。

これは、重くて湿った雪の降るふくいの気候に適応したためです。

また、湿度の高い日本に育つ木は、外国の木とくらべて、防虫防腐成分を多く含んでいます。

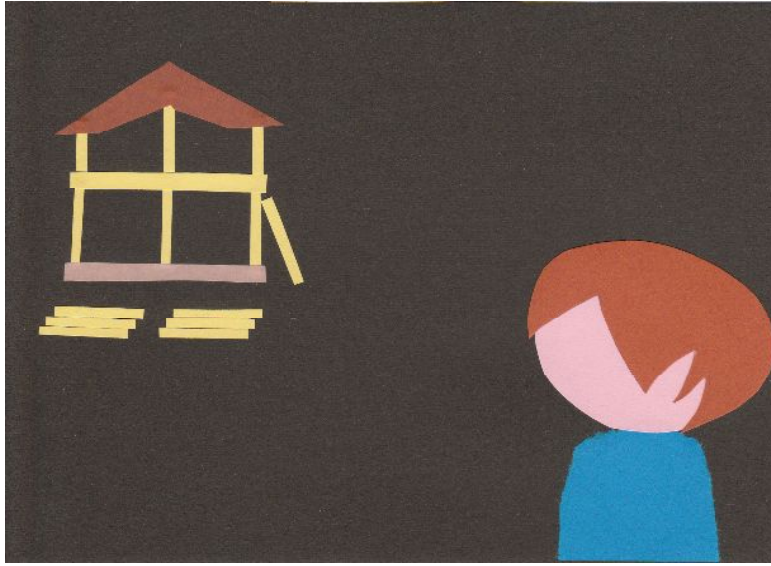
このように、木は、育った土地との関係がとても深いことがわかります。



雪の降らないところで育った木が、ふくいにきたらどう思うでしょうか？

いつか子どもが孫を連れて帰ってくる「わが家」を建てるなら、「どこの木を使うか」という、ちょっとしたこだわりを持つのもいいかもしれません。

「急にそんなこと言われても…」と思うかもしれませんが、まずは気にすることからはじめてみませんか？



——「どこの木が使われているのかな？」

県産材（ふくいの木）  
についてのお問い合わせは

〒912-0016  
大野市友江 11-10  
福井県奥越農林総合事務所 林業部  
林業・木材活用課  
TEL 0779-65-1280（内線 415）  
FAX 0779-65-1289